メールクライアントの SSL 対応設定マニュアル

1. 設定に必要な項目と設定値

教育学部サーバでのメールの送受信を SSL 対応させるには、使用するメールクライアント で、メール受信・メール送信それぞれ以下の値が設定されている必要があります。

メール受信

サーバ名: mail.p.u-tokyo.ac.jp ポート: 995
 セキュリティ設定
 接続の保護: SSL
 認証方式: パスワード認証

<u>メール送信</u>

サーバ名: securemail.p.u-tokyo.ac.jp ポート: 587 セキュリティ設定 接続の保護: STARTTLS 認証方式: パスワード認証

以下、主なメールクライアントでこれらの値を設定する方法について説明します。

Outlook Express, Windows Mail, Windows Live Mail の場合 \Rightarrow p.2 Office Outlook の場合 \Rightarrow p.6 Thunderbird の場合 \Rightarrow p.11 AL-Mail の場合 \Rightarrow p.16 Mail (Mac OS X) の場合 \Rightarrow p.21

2. Outlook Express, Windows Mail, Windows Live Mail の場合

(a) メニューバーの「ツール」から、「アカウント...」を選択します。

🗐 Outlook Express		
│ ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	ツール(T) メッセージ(M) ヘルプ(H)	
	送受信(S)	•
メールの作成 送受信	すべて同期(Z) フォルダの同期(<u>N</u>)	
🕄 Outlook Express	オフライン用にマーク(ビ)	→
フォルダ ×	アドレス帳(<u>B</u>) Ctrl+Sh	hift+B
Cutlook Express	送信者をアドレス帳に追加する(型)	
🖻 🧐 ローカル フォルダ	メッセージ ルール(<u>B</u>)) Tetsuo
	Windows Messenger	•
一〇〇 送信トレイ	自分のオンライン状態M	5 F
☆ 送信済みアイテム	マ <u>カウント(A)</u> オプション(Q)	
/內·「星2	☑ (受信トレイ)] (こ、 <u>4 〕通</u> の未開封メッセージがあります。
	1 xyt-30	N'ESZ

(b) 「メール」タブを選択します。

インターネット アカウント			? 🛛
すべて メール ニュース ラカウント Active Directory 留 Bigfoot インターネット mail.p.u-tokyo.ac.jp VeriSign インターネッ 留 WhoWhere インターネ	ディレクトリ サービス 種類 ディレクトリ サービス ディレクトリ サービス メール (駅定) ディレクトリ サービス ディレクトリ サービス	接続 ローカル エリア ネットワー ローカル エリア ネットワー 使用可能な接続 ローカル エリア ネットワー ローカル エリア ネットワー	
			順番の設定(S) 閉じる

(c) 教育学部のサーバを選んで、「プロパティ」を選択します。

インターネット アカウン	2F		? 🛛
すべて メール ニュ	ース ディレクトリ サービス		追加(<u>A</u>)
アカウント	種類	接続	削除(<u>R</u>)
🥷 mail.p.u-tokyo.a	ac.jp メール (既定)	使用可能な接続	プロパティ(P)
			既定に設定(D)
			インポートΦ
			エクスポート(匠)
			順番の設定(S)

(d) 「サーバ」タブを選択します。

😪 mail.p.u−tokyo.ac.jp のプロパティ	? 🛛
全般 サーバー 接続 セキュリティ 詳細設定	
メール アカウント	
これらのサーバーに覚えやすい名前を付けることができます 仕事、Microsoft メール サーバー)	す。(例:
mail.p.u-tokyo.ac.jp	
ユーザー情報	
名前(N):	
会社名(2):	
電子メールアドレス(<u>M</u>): ************************************	
返信アドレス(Y):	
✓メールの受信時および同期時にこのアカウントを含めるΦ	
OK キャンセル	適用(<u>A</u>)

(e) 「受信メール」を <u>mail.p.u-tokyo.ac.jp</u>に、「送信メール」を <u>securemail.p.u-tokyo.ac.jp</u> にそれぞれ書き換えます。また、送信メールサーバの、「このサーバーは認証が必要」 にチェックを入れます。

😪 mail.p.u-tokyo.ac.jp のプロパティ			
全般 サーバー 接続 セキュリティ 詳細設定			
サーバー 情報			
受信メール サーバーの種類	≣(<u>M</u>): <u>POP3</u>		
受信メール (POP3)Φ:	mail.p.u-tokyo.ac.jp		
送信メール (SMTP)(<u>U</u>):	送信メール (SMTP)(U): securemail.p.u-tokyo.ac.jp		
受信メール サーバー 🛛 🚽		_	
アカウント名(〇):			
パスワード(<u>P</u>):	*****		
✓パスワードを保存する(W)			
セキュリティで保護されたパスワード認証でログオンする(S)			
送信メール サーバー ―	送信メール サーバー		
●このサーバーは認証が必	.要(⊻)	<u> </u>	
		1/43	
	ビストレンセル / 通用	1(<u>A</u>)	

※ここでは、「セキュリティで保護されたパスワード認証でログインする」にはチェックを入れないでください。教育学部サーバでは、次で説明する別の方法でパスワード認証の接続を保護します。

これらの設定を終えたら、「詳細設定」タブを選択します。

(f) 送信メールで、「このサーバーはセキュリティで保護された接続(SSL) が必要」にチ エックを入れ、値を <u>587</u>に変更します。また、受信メールで、「このサーバーはセキュ リティで保護された接続(SSL) が必要」にチェックを入れ、値を <u>995</u>に変更します。

😪 mail.p.u-tokyo.ac.jp のプロパティ 🛛 ? 🔀
全般 サーバー 接続 セキュリティ 詳細設定
サーバーのボート番号
送信メール (SMTP)(Q): 587 既定値を使用(U)
▼このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(@)
受信メール (POP3)①: 995
▼このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(©)
サーバーのタイムアウト
短い つう 長い 1分
送信
□ 次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する(B)
60 C KB
配信
□ サーバー(こメッセージのコピーを置く(L)
- サーバーから削除する(B) 5 😂 日後
□ 頂明除済みアイテム]を空にしたら、サーバーから削除(M)
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

「OK」をクリックして、設定を終了します。

※接続時に、以下のようなセキュリティの警告が出ますが、「はい」を選択してください。 現在、教育学部の SSL サーバ証明書が自己署名のためこのような警告が出ますが、皆様に とっては「信頼できるサーバ」ですので「はい」で答えて大丈夫です。

インターネ	インターネット セキュリティの警告	
1	接続しているサーバーは、確認できないセキュリティ証明書を 使用しています。	
1000	証明書チェーンは処理されましたが、信頼プロバイダが信頼していないルート証明書で強制終了しました。	
	このサーバーを使用し続けますか?	
_		

3. Office Outlook の場合

(a) メニューバーの「ツール」から「アカウント設定」を選択します。以下のウィンドウが 表示されるので、使用するアカウントを選択し、「変更」をクリックします。

電子メール フ アカウントを	アカウント を追加または削除できます。また、アカウントを選択してその設定を変更できます。
子メール デ・ 子 新規(N)	ータファイル RSS フィード SharePoint リスト インターネット予定表 公開予定表 アドレス帳 ※ 修復(R) 奈夏(A) の 既定に設定(D) X 削除(M) ・
名前 和前mana	植類 tokyo.ac.ip POP/SMTP (決信で使用する既定のアカウント)
択した電子メ	ール アカウントでは、新しい電子メール メッセージを次の場所に配信します:
択した電子メ フォルダの変更	ール アカウントでは、新しい電子メール メッセージを次の場所に配信します: 「① 個人用フォルダ¥受信トレイ データ ファイル: C:¥Documents and Settings¥Administrator¥¥Outlook¥Outlook1.pst
択した電子メ フォルダの変更	ール アカウントでは、新しい電子メール メッセージを次の場所に配信します: 「① 個人用フォルダ¥受信トレイ データ ファイル: C:¥Documents and Settings¥Administrator¥…¥Outlook¥Outlook1.pst

(b)「受信メールサーバ」を <u>mail.p.u-tokyo.ac.jp</u>に、「送信メールサーバ」を <u>securemail.p.u-tokyo.ac.jp</u>に設定します。

電子メール アカウントの変更			
インターネット電子メール設立 電子メール アカウントを使	官 用するには、以下の項目をすべて言	役定してください。	×
ユーザー情報 名前(小): 電子メール アドレス(正): サーバー情報 アカウントの種類(小): 受信メール サーバー(D): 送信メール サーバー(SMTP)(D): メール サーバーへのログオン情報 アカウント名(山): パスワード(P):	POP3 mail.p.u-tokyo.ac.jp securemail.p.u-tokyo.ac.jp ********* ワードを(呆存する(股)	アカウント設定のテスト この画面内に情報を入力したら、アカウントのテストを行う ことをお勧めします。テストを実行するには「アカウント設 定のテスト」をクリックします(ネットワークに接続されている 必要があります)。 アカウント設定のテスト①	
□ メール サーバーがセキュリティで に対応している場合には、チェッ	保護されたパスワード認証 (SPA) ク ボックスをオンにしてください(<u>Q</u>)	【詳細設定(M)	
		< 戻る(B) 次へ(M) > (中)	ヤンセル

※「メールサーバがセキュリティで保護されたパスワード認証に対応している場合には、 チェックボックスをオンにしてください」にはチェックを入れないでください。教育学 部サーバでは、次で説明する別の方法でパスワード認証の接続を保護します。

これらの設定が終わったら、「詳細設定」をクリックします。

(c) 「送信サーバー」タブを選択します。

インターネット電子メール設定	×
全般 送信サーバー 接続 詳細設定 メール アカウント これらのアドレスに覚えやすい名前を付けることができます。(例: 仕事、Microsoft Mail サーバー)(N)	
その他のユーザー情報 組織(Q): 返信電子メール(R):	
OK ++ンセル	~

(d) 「送信サーバー (SMTP) は認証が必要」にチェックを入れ、「受信メールサーバーと 同じ設定を使用する」を選択します。

インターネット電子メール設定	<
全般 送信サーバー 接続 (詳細設定)	
ぼうまたのでは「「「「「「「「「「「」」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「	
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	
○ 次のアカウントとパスワードでログオンする(止)	
アカウント名(11):	
パスワード(P):	
✓ パスワードを保存する(B)	
□ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) (こ対応(Q)	
○メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする①	
OK キャンセル]

これらの設定が終わったら、「詳細設定」タブを選択します。

(e)「受信サーバー」で、「このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要」にチェック を入れ、値を <u>995</u>に変更します。また、「送信サーバー」の値を <u>587</u>に変更し、「使用 する暗号化接続の種類」を <u>TLS</u>に設定します。

インターネット電子メール設定
全般 送信サーバー 接続 詳細設定 サーバーのポート番号 受信サーバー (POP3) Φ: 995 標準設定(D) ● のサーバー(は暗号化とれた接続 (SSL) が必要(E) 送信サーバー (SMTP) Φ): 587 使用する暗号化接続の種類(Φ): TLS サーバーのタイムアウト(T) 短い → 長い 1 分 配信 ● サーバーたメッセージのコピーを苦く(D) ● サーバーから削除する(B) 10 ● 日後 ● 間IF除済み アイテム3 から削除されたら、サーバーから削除(M)
OK キャンセル

「OK」をクリックして設定を終了します。

※接続時に、以下のようなセキュリティの警告が出ますが、「はい」を選択してください。 現在、教育学部の SSL サーバ証明書が自己署名のためこのような警告が出ますが、皆様に とっては「信頼できるサーバ」ですので「はい」で答えて大丈夫です。

インタ	ーネット セキュリティ警告
	接続しているサーバーは、確認できないセキュリティ証明書を 使用しています。
	証明書チェーンは処理されましたが、信頼ブロバイダが信頼していないルート証明書で強制終了しました。
	[証明書の表示(1)]
	このサーバーの使用を続けますか?
	(はい)()(いいえ(<u>N</u>)

4. Thunderbird の場合

(a) メニューバーの「ツール」から「アカウント設定」を選択します。以下のようなウィン ドウが開くので、「サーバ設定」を選択します。

アカウント設定	
 □ ーカルフォルダ 迷惑メール ディスク領域 ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	アカウント設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
編集とアドレス入力 迷惑メール ディスク領域 開封確認 セキュリティ 送信 (SMTP)サーバ	名前公: *####################################
	□ ファイルから署名を挿入する (テキストまたは HTML、画像ファイル)①:
アカウント操作(<u>A</u>)・	差出人情報を管理(M) OK

(b)「サーバ名」に<u>mail.p.u-tokyo.ac.jp</u>を設定し、「ポート」に<u>995</u>を設定します。セキュ リティ設定で、「接続の保護」に<u>SSL/TLS</u>を選択し、「認証方式」が<u>通常のパスワード</u> 認証になっていることを確認します。

アカウント設定	
 □ーカルフォルダ 送惑メール ディスク領域 kamina@pu-tokyo.ac.jp サーパ酸定 送信控えと特別なフォルダ 編集とアドレス入力 送惑メール ディスク領域 開封確認 セキュリティ 送信 (SMTP) サーバ 	サーバ設定 サーバ名(S): mailpu-tokyo.ac.jp ボート(P): 995 既定値: 995 ユーザ名(S): mailpu-tokyo.ac.jp ボート(P): 995 既定値: 995 ユーザ名(S): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): 認証方式(D): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): 認証方式(D): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): ジロン(SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): ジ目: (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): ジロン(SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): ジ目: (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): ジロン(SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/TLS): ジロン(SSL/TLS): (SSL/TLS): (SSL/
アカウント操作(<u>A</u>)・	OK ギャンセル

これらの設定が終了したら、次に「送信(SMTP)サーバ」を選択します。

(c) 教育学部のサーバを選択し、「編集」をクリックします。

▣ □ーカルフォルダ	送信 (SMTP) サーバの設定	
迷惑メール ディスク領域	アカウントを複数お持ちの場合に複数の送信(SMTP)サーバを設定できますが 以た設定するトリッセージの逆行時(エラーが発生することがあります	、これは上級ユーザ向けです。複数の SMTP サー
= ##### @p.u-tokyo.ac.jp サーバ設定	「Waste 9 るこメアビークのた」言語にエフーが完全 9 るここかのりよ 9。	jętn(D)
送信控えと特別なフォルダ		
編集とアドレス入力 決蔵オール		
ディスク領域		
開封確認		AAAE1002aRAEV
	ユーザ名: 認証方式: 通常のパスワード認証 接続の保護: STARTTLS	
アカウンド操作(<u>A</u>)・・		 OK *ャンセル

(d) 「サーバ名」に <u>securemail.p.u-tokyo.ac.jp</u>を、「ポート番号」に <u>587</u>を設定します。また、セキュリティと認証で、「接続の保護」に <u>STARTTLS</u>を、「認証方式」に<u>通常のパスワード認証</u>を、「ユーザ名」に各自のユーザ名を設定します。

設定	
説明(<u>D</u>):	
サーバ名(<u>S</u>):	securemail.p.u-tokyo.ac.jp
ポート番号(<u>P)</u> :	587 既定值: 25
ビギエワノイム記録目	• · · · ·
ビギュリティン:2011 接続の保護(<u>N</u>):	STARTTLS

「OK」をクリックして設定を終了します。

※接続時に、以下のようなセキュリティ例外の追加メッセージが出ます。現在、教育学部の SSL サーバ証明書が自己署名のためこのような警告が出ますが、皆様にとっては「信頼 できるサーバ」ですので「セキュリティ例外を承認」してください。「次回以降もこの例外 を有効にする」にチェックを入れておくと、次からはこのメッセージは出ません。

セキュリティ例外の追加		
例外的に信頼する証明書としてこのサイトの証明書を登録しようとしています。 本物の銀行、通信販売、その他の公開サイトがこの操作を求めることはありません。		
サーバ URL: mailpu-tokyo.ac.jp:995		
証明書の状態 このサイトでは不正な証明書が使用されており、サイトの識別情報を確認できま せん。		
不明な証明書です 既知の認証局によって検証されていないため、このサイトの証明書は信頼されません。		
▶ 次回以降にもこの例外を有効にする(P)		
セキュリティ例外を承認(C)キャンセル		

【重要】送信時には、最初次のようなメッセージが出て送信に失敗します。

メッセージの送信エラー	×
メッセージを送信できませんでした。 原因不明の問題により、SMTP サーバ securemail.p.u-tokyo.ac.jp を使ってメッセージを送信できませんでした。 SMTP サーバの設定が正しいか確認して再度試すか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 OK	

この場合、受信時と同様に以下のようなウィンドウが出ているはずですので、「セキュリテ

ィ例外を承認」して送信しなおしてください。「次回以降もこの例外を有効にする」にチェックを入れておくと、次からはこのメッセージは出ません。

セキュリティ例外の追加	
例外的に信頼する証明書としてこのサイトの証明書を登録しようとしています。 本物の銀行、通信販売、その他の公開サイトがこの操作を求めることはありません。	
サーバ URL: securemail.p.u-tokyo.ac.jp.587 証明書を取得(G)	
ご明書の状態 このサイトでは不正な証明書が使用されており、サイトの識別情報を確認できま せん。	
不明な証明書です	
既知の認証局によって検証されていないため、このサイトの証明書は信頼されません。	
▶ 次回以降にもこの例外を有効にする(P)	
セキュリティ例外を承認(の)キャンセル	

5. AL-Mail (Version 1.13b) の場合

※教育学部でのメール送信時の認証(SMTP-AUTH)の方法に対応している AL-Mail のバ ージョンは、1.13b になります。それ以外のバージョンをお使いの方は、

http://www.almail.com/programs/almail32/alm32113b.exe

より対応しているバージョンをダウンロードしてインストールしてください。

AL-Mail は、残念ながらインストール時の状態では SSL に対応していません。先に、以下の方法で SSL に対応させるプラグインをインストールする必要があります。

・まず、プラグインの作者のサイト
 <u>http://turnede.es.land.to/software.html</u>

から、SecureTunnel-plugin-20100606.lzh (2011/01/14 現在の最新バージョン)をダウ ンロードします。

- ・ダウンロードしたファイルを解凍し、securetunnel.dll を AL-Mail32 のプラグインフォ ルダ(通常は C:¥Program Files¥Almail32¥Plugins) にコピーします。また、ssleay32.dll と libeay32.dll を、almail.exe(アプリケーション本体)があるのと同じフォルダ(通常 は C:¥Program Files¥Almail32) にコピーします。
- ・AL-Mail を再起動します。

(a) メニューバーの「ツール」から「オプション」を選択します。以下のウィンドウが開く ので、「POP3 サーバ名」と「SMTP サーバ名」にそれぞれ <u>localhost</u>を設定します。

ເປັນສັນ 🛛 🔀		
アカウント 接続 受信 送信 振り分け 外部ソフト その他		
タイトル(T): 新規アカウント		
, ユーザ情報		
ユーザ名(山): (株式会)		
パスワード(P):		
メールアドレス(E): Managing@p.u-tokyo.ac.jp		
フルネーム(E): (************************************		
- サーバ情報		
POP3サーバ名(Q): localhost		
SMTPサーバ名(M): localhost		
高度な設定(出)…		
OK 447/2/0 //0//		

次に、「高度な設定」をクリックします。

(b)「POP3 ポート番号」に<u>8110</u>を、「SMTP ポート番号」に<u>8025</u>を設定します。「メール送信時に認証する」にチェックを入れ、「認証方式」に<u>LOGIN</u>を、「ユーザ名」と「パスワード」にそれぞれ各自のユーザ名とパスワードを設定します。

高度な設定	E
ホスト名(山):	OK
ドメイン名(D): p.u-tokyo.ac.jp	キャンセル
POP3ポート番号(P): (8110	既定値に戻す
SMTPポート番号(S): 8025 タイムゾーン(T): (システム値) ▼	<u>へ</u> ルゴ(H)
 □ APOPで認証する(A) □ メール送信時に認証する(C) 認証方式(M): LOGIN 	
ユーザ名(山): 林田本部の	

これらの設定が終わったら「OK」をクリックします。

(c) 次に、メニューバーの「ツール」から「プラグイン・オプション」を選択し、「SecureTunnel」 を選択します。以下のようなウィンドウが出るので、POP3 over SSL の「この機能を 使う」にチェックを入れ、「localhost のポート番号」に <u>8110</u>を、「POP3 サーバ名」に <u>mail.p.u-tokyo.ac.jp</u>を、「POP3 サーバポート番号」に <u>995</u>を設定します。また、SMTP over SSL の「この機能を使う」にチェックを入れ、「locahost のポート番号」に <u>8025</u> を、「SMTP サーバ名」に <u>securemail.p.u-tokyo.ac.jp</u>を、「SMTP サーバポート番号」 に <u>587</u>を設定し、「STARTTLS を使う」にチェックを入れます。

SecureTunnelのプロパティ	×
メイン設定 SSL詳細設定	
POP3 over SSL マニの機能を使う(P) localhostのポート番号(Q) 8110	
POP3サーバ名(W) mail.p.u-tokyo.ac.jp	
POP3サーバボート番号(E) 995	
「 STARTTLSを使う(B)	
SMTP over SSL マニの機能を使う(S) localhostのポート番号(A) 8025	
SMTPサーバ名(D) SMTPサーバポート番号(E) 587 マ STARTTLSを使う(G)	
OK キャンセル	

これらの設定が終わったら、「SSL 詳細設定」タブを選択します。

(d) 「サーバ証明書の検証に失敗したら通信を中断する」のチェックを外します。

SecureTunnelのプロパティ	X
メイン設定 SSL詳細設定	
● Windows標準(W) ○ OpenSSL(Q)	
※Windows2000/XPのみ ※OpenSSLライフラリ(DLLファイル)必要	
使用するプロトコル	
○ SSLv2のみ(排推奨)(2) ○ SSLv3/2自動(3) ○ TLSv1のみ(4)	
Iラー表示レベル A: 全てのエラーを通知する	
その他 「サー、『証明書の検証に失敗したら通信を中断する(V)	
OK キャンセノ	1

「OK」をクリックし、設定を終了します。

6. Mail (Mac OS X) の場合

(a) メニューバーの「Mail」から「環境設定」を選択します。「アカウント」を選択すると 以下のような画面になります。「受信用メールサーバ」に <u>mail.p.u⁻tokyo.ac.jp</u>を設定し ます。

00	アカウント
 一般 アカウント RSS RSS 	※惑メール フォントとカラー 表示 作成 署名 ルール
アカウント	アカウント情報 メールボックスの特性 詳細
	アカウントの種類: POP 時間: 教育学部
	メールアドレス: www.www.ac.jp
	氏名: Water and the second seco
	ユーザ名: Automatic State Automa
	パスワード: •••••••
	Sigmメールリーハ (SMTP) (新子部) ✓ このサーバのみを使用
+ -	?

次に、「送信用メールサーバ (SMTP)」から「サーバリストを編集」を選択します。

(b) 教育学部のメールサーバを選択し、「サーバ名」に <u>securemail.p.u-tokyo.ac.jp</u>を選択し ます。

説明	サーバ名 使用しているアカウン	
教育学部	securemail.p.u-t 教育学部	
+ -		
	アカウント情報 詳細	
	説明: 教育学部	
t	r—八名:(securemail.p.u-tokyo.ac.jp	
	(++)++11	OK
0	41200	UK

次に「詳細」を選択します。

 (c) 「カスタムポートを使用」を選択し、<u>587</u>を設定します。また、「SSL (Secure Sockets Layers) を使用」にチェックを入れます。「認証」に「パスワード」を選択し、「ユーザ 名」と「パスワード」にそれぞれ各自のユーザ名とパスワードを設定します。

説明	サーバ名	使用しているアカウント
救育学部	securemail.p.u-1	t 教育学部
+ -		
	アカウン	ト情報 詳細
	○ デフォルト	ポートを使用 (25, 465, 587)
	 カスタムホ 	ペートを使用: 587
	SSL (Secur	re Sockets Layer)を使用
	認証: パスワード	;
-د	-ザ名: (1000)000	
パス・	7-6:	
2		「キャンセル」 OK

これらの設定が終われば、「OK」をクリックします。

(d) 次に、「詳細」を選択します。以下のような画面になるので、「ポート」を <u>995</u>に設定し、 「SSLを使用」にチェックを入れます。

0 0 アカウント RSS 8 A) RSS 迷惑メール フォントとカラー -般 アカウント 表示 作成 署名 アカウント アカウント情報 メールボックスの特性 詳細 較育学部
POP ☑ このアカウントを使用 ✓ 新規メールを自動的に受信するときに含める □ メッセージ受信後にメッセージのコピーをサーバから取り除く: "受信"トレイから移動したとき \$ (今すぐ取り除く) メッセージのサイズが KBを超えるときに警告 以下の詳細オプションを変更するときは、事前にシステム管理 者に確認してください。 ポート: 995 🗹 SSL を使用 認証: パスワード 🔷 + -?

これで設定は終了です。

※メール受信時に、以下のような警告メッセージが出ます。現在、教育学部の SSL サーバ 証明書が自己署名のためこのような警告が出ますが、皆様にとっては「信頼できるサーバ」 ですので接続して大丈夫です。次回以降、このメッセージを出させないようにするには、「証 明書を表示」をクリックします。

$\bigcirc \bigcirc \bigcirc$	証明書を検討	Ē
	"mail.p.u-tokyo.ac.jp"の識別の確 このサーバの証明書は不明な認証機関に tokyo.ac.jp" に模したサーバに接続しよ 重要情報がリスクにさらされる恐れがあ か?	認ができません。 こよって署名されています。 "mail.p.u– こうとしているかもしれません。その場合、 5ります。それでもこのサーバに接続します
?	証明書を表示	(キャンセル) 接続

以下の画面になるので、「"mail.p.u-tokyo.ac.jp"への接続時に "mail.p.u-tokyo.ac.jp"を常に 信頼」にチェックを入れて、「接続」をクリックします。

	"securemail.p.u-tokvo.ac.jp"の識別の確認ができません。
	このサーバの証明書は不明な認証機関によって署名されています。 "securemail.p.u-tokyo.ac.jp" に模したサーバに接続しようとしているかもしれま せん。その場合、重要情報がリスクにさらされる恐れがあります。それでもこの サーバに接続しますか?
securemail.	.p.u-tokyo.ac.jp"への接続時に"securemail.p.u-tokyo.ac.jp"を常に信頼
🔯 securem	ail.p.u-tokyo.ac.jp
	·
Certificate Saudart	securemail.p.u-tokyo.ac.jp 発行元:pmaster 有効期限:2011年12月3日土曜日 17時55分00秒JST ✿ この証明書は不明な機関によって署名されています
▶ 信頼	
▶ 詳細な情報	
2	(証明書を隠す) キャンセル 接続

※※メール送信時にも同様の警告メッセージが出ますが、受信のときと同様に対処します。